

計算機実験2 最終レポート

- MPI を用いて 1 から N までの和を m 個のノードを用いて並列計算するプログラムのアルゴリズムを説明せよ。プログラムを作成し、実行時間を測定し、様々な N と m について、並列化の効果を調べよ。
- 積分をリーマン和で近似することにより円周率の近似値を求める並列計算プログラムを作成せよ。実行時間を様々な条件（積分区間の分割数、ノード数）の下で測定し、並列化の効果を調べよ。
- 2次元空間上の Schnakenberg kinetics を持つ反応拡散方程式を最低 2 台のノードを用いて並列計算するプログラムを作成せよ。実行時間を様々な条件（区間分割数）の下で測定し、並列化の効果を調べよ。

レポートの提出

- レポートは基本的に latex で作成し、紙媒体を提出すること。
- 紙媒体は、6月26日中に学科事務室へ提出すること。